

資料提供(投げ込み) 平成31年1月4日(金)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
消防本部 予防課 (電話059-254-0356)	予防課長 田中 秀浩

平成30年の火災・救急・救助概況について(速報)

平成30年中の津市内における火災・救急・救助概況の速報は、下記のとおりでした。(平成30年中の数値は速報値となります。)

記

1 火災(担当: 予防課/電話059-254-0356)

平成30年中に市内で発生した火災は135件で、そのうち住宅火災は33件でした。また、火災による死者は5人で、住宅火災による死者は3人でした。

火災原因については、全体では「たき火」、「放火(疑い含む)」、「たばこ」の順に多く、住宅火災では、「たばこ」、「こんろ」が最も多く、続いて「ストーブ」でした。

これを踏まえ、たき火からの延焼や、寝たばこ、こんろの消し忘れなど、少し注意すれば防げる火災を起こさないように広報紙やイベント等、機会を捉えて広報するとともに、住宅火災での逃げ遅れによる死傷者を無くすために、住宅用火災警報器の普及啓発に努めていきます。

(1) 火災概況

▲は減を示す

区 分		平成30年	平成29年	増減
火災件数合計 (件)		135	121	14
火災 種 別 件	建 物 火 災	54	54	0
	(内) 住宅火災	33	30	3
	林 野 火 災	5	7	▲2
	車 両 火 災	11	10	1
	その他の火災	65	50	15
死 者 (人)		5	3	2
(内) 住宅火災		3	3	0
負 傷 者 (人)		11	12	▲1

(2) 参考（平成21年以降の年間火災件数）

年	件数
平成30年	135
平成29年	121
平成28年	112
平成27年	117
平成26年	122
平成25年	168
平成24年	127
平成23年	108
平成22年	110
平成21年	109

2 救急（担当：消防救急課救急担当／電話059-254-1600）

平成30年中の市内における救急出動件数は16,445件で、前年と比較して1,544件の増加となり市町村合併後最多の出動件数となりました。

事故種別でみると、例年同様急病が10,430件と最も多く、次いで一般負傷の2,534件、交通の1,324件の順となっています。また、傷病程度では、全体の約半数が軽症者であり、この中にはタクシー代わりとみられる救急事案も散見されます。救急車の適正利用について協力を求めています。

(1) 救急概況

▲は減を示す

区 分	平成30年	平成29年	増減
出動件数（件）	16,445	14,901	1,544
搬送件数（件）	14,934	13,600	1,334
不搬送件数（件）	1,511	1,301	210
搬送人員（人）	15,078	13,733	1,345

(2) 救急種別件数

（単位：件） ▲は減を示す

種 別	平成30年	平成29年	増減
火 災	12	9	3
自然災害	13	11	2
水 難	9	4	5
交 通	1,324	1,242	82
労働災害	144	140	4
運動競技	81	48	33
一般負傷	2,534	2,369	165
加 害	67	61	6
自損行為	173	138	35
急 病	10,430	9,330	1,100
そ の 他	1,658	1,549	109
合 計	16,445	14,901	1,544

(3) 参考（平成21年以降の年間救急出動件数）

年	件数
平成30年	16,445
平成29年	14,901
平成28年	14,716
平成27年	14,306
平成26年	14,229
平成25年	14,196
平成24年	13,849
平成23年	13,066
平成22年	12,224
平成21年	11,572

3 救助（担当：消防救急課消防救助担当／電話059-254-1601）

平成30年中の市内における救助出動件数は138件で、前年に比べ9件増加しました。中でも7月の救助出動件数は20件で、他の月に比べ大幅に増えました。

救助出動の原因で最も多かったのが交通事故の71件で全体の51パーセントを占め、過去数年、原因のワースト1位です。

また、近年増加傾向の建物等による事故は30件発生しています。その多くは、高齢者が建物内に居るが外からの呼びかけに応答がない、といった内容でした。

離れて暮らすご家族の安否確認をお願いします。

(1) 救助概況

▲は減を示す

区 分	平成30年	平成29年	増減
出動件数（件）	138	129	9
活動件数（件）	93	89	4
救助人員（人）	96	102	▲6

(2) 救助種別件数

（単位：件） ▲は減を示す

種 別	平成30年	平成29年	増減
火 災	2	1	1
交通事故	71	71	0
水難事故	8	4	4
風水害等自然事故	0	3	▲3
機械による事故	3	2	1
建物等による事故	30	28	2
ガス及び酸欠事故	1	1	0
破裂事故	0	0	0
その他の事故	23	19	4
(内) 山岳	3	7	▲4
合 計	138	129	9

(3) 参考（平成21年以降の年間救助出動件数）

年	件数
平成30年	138
平成29年	129
平成28年	137
平成27年	105
平成26年	126
平成25年	130
平成24年	113
平成23年	116
平成22年	118
平成21年	157